Sentinel LEAP

SafeNet
ソフトウェアライセンシング ソリューション ニュース
Q4 2014

Sentinel Cloud 3.5

Sentinel Cloud の最新バージョンは、印刷されたオンラインマテリアルへ新しい表現を提供し、ブラナ環境およびライセンスキャッシュ管理機能のオペレーションの改善といった3つの新しい改善が行われています。

続きを読む

Sentinel Envelope for Android

弊社の Sentinel ソフトウェア封筒製品が Sentinel Envelope for Android に強化されました! Sentinel Envelope for Android は、Android アプリケーションの保護および、Sentinel ソフトウェアライセンスの実装を行う、Android アプリケーション向けの新規 (API) 統合ライブラリとツールです。

続きを読む

Sentinel RMS 8.6

SafeNet の新規ライセンス展示品は、印刷版ソリューションガイドに向上しました。最新バージョンには、ライセンスオーケストレーションの機能がたくさんの改善されています。

続きを読む

連絡先情報
03-5776-2751

業界ニュース

Home

明らかにされたソフトウェアライセンシングの転換

Better Software Technekt 誌の著で、SafeNet の Omkarnath Munipalle 著者愛読部長はソフトウェアライセンシングの転換について、Omkarnath 氏は、ソフトウェアライセンスの変わりゆくダイナミクスを説明しています。ソフトウェアの販売と維持するための費用について考慮しています。「クラウドコンピューティングの急速な採用と拡大は、おそらくこれまでのこれら市場の準備を根本的に変化させています」と Omkarnath 氏は述べています。「今日では、モバイルやクラウド等 (モバイルネットワーク) アイスの急速な採用に、ビジネスを維持するのに充実することを考えられています。この変化は、開発者、ソフトウェアの販売、新しいビジネスモデル、および顧客の期待など、ソフトウェア業界全体の価値を取り付けます。言うまでもなく、これは製品やサービスの内容自体を変化させ、ソフトウェアビジネスを不断に改善する必要があるとも言えます。ソフトウェアアプリケーションを構成する全てを変化して競争力を高めています。市場でも不断な改善ソフトウェアアプリケーションの成功とおすすめてきて、このトレンドは広範囲なプラットフォームのカバーするデバイスを提供しています。これらの変化は、クラウド配信向け、サービスとしてのソフトウェアなどです。ソフトウェアビジネスは、現在の顧客へ大きな収益を増やし、考えられるデバイスを提供しています。ソフトウェアビジネスを成長するための新しいビジネスモデルを可能にするとともに、プロテクション・ケイパビリティの拡大に関連させます。これは成長であり、新しいビジネスモデルを可能にするとともに、プロテクション・ケイパビリティの拡大に関連させます。

書籍のビジネスの記述は、ソフトウェアライセンスモデルに対応しています。その中の範囲は新しい市場の基を探ることができます。"Better Software 誌の最新号をダウンロード" して、Omkarnath 氏のソフトウェアライセンシング変革と企業の企業を詳細をご覧ください。業界の基準を最新する多くの情報に関して検討してください。

イベントへ

イベント

業界ニュースへ

LicensingLive!2014 Recap

業界でよく知られた今年の LicensingLive! イベントは10月下旬に開催されました。ソフトウェア収益化業界のライセンシングとエンタイトルメント管理に焦点を当てたこのイベントは、Aimy Kanary (IDC)、Jeff Kaplan (THINKstrategies)、および世界的パネリストである Ray Wang (Constellation Research) 氏、Rebecca Wettemann (Nucleus Research) 氏、Tower's Watson、Nexpose および HID Global 社下のディスカッションを行いました。

- 業界上のロイヤリンングとサブスクリプションに対する収益化
- IoT (物のインターネット) でのアプリケーション配布
- 収益の活用とエンドユーザが望むものと収益を収益するものマッチング
- 新生活ベースとライブ (課題と解決策

このイベントは、SIIA 知的プロパティ管理グループおよび Rhianna Collier 氏の司会によるライブディスカッションで開催しました。

プレゼンテーションをご覧になり、初めてのイベントについてさらに知りたいでは、LicensingLive! の web サイト」。

製品スポットライトへ

製品スポットライト

イベントへ

SafeNet のエンタイトルメント管理システムの最新バージョン Sentinel EMS 3.0 が、新機能と機能強化と共に 登場!

Sentinel EMS は、ライセンスとエンタイトルメント管理の価値、(現在のバックオフィスシステムに対するシンプルなインテフェースおよび各種の広義のデータ収集やレポート機能) で一元管理するエンタイトルメントとライセンスポリシーに提供する Web ベースのソリューションです。これらの機能は、顧客がビジネスを見る方法にも、そしてそれによりエンドユーザの満足度にも大きな影響を与えます。Sentinel EMS は、納入、管理を行い、ライセンスポリシーのために、オンプレミスや Sentinel Managed Application Hosting Services にもスケールできます。

Sentinel EMS の最新リリースは、以下の新機能と機能強化が含まれています:

- チャネル機能強化 – マルチレイヤチャネルのサポートに対応して、EMS 3.0 のチャネル機能強化により、エンドユーザーとチャネルパートナーは、ソフトウェアのアクティベーションとともの表示に統合され、セルフサービスを行うことができます。
- クラウドライセンシング – EMS の CLOUD ライセンシングのサポートにより、ソフトウェアのアプリケーションは自己ライセンス管理システムからオンプレミスクラウドの両方のエンタイトルメントを管理し、コントロールできます。
- ESD Web サービス – ソフトウェアのアップデート、当社の新しい Web サービスを使用して EMS にダウンロードの実施なコンテンツの配備を自動化できるようになり、作業のエラーを防ぎ、効率性を向上することができます。

Sentinel EMS について詳しくは知りたい、どこをクリック してください。また、Sentinel EMS 3.0 へのアップグレードするには、最も担当営業にご連絡ください。

SafeNet の 強劇的な次世代ソフトウェアプロテクション、ライセンシング、およびエンタイトルメント管理システム Sentinel LDK 7.2 がご利用いただけるようになりました!

Sentinel LDK は、ソフトウェアを保護し、業務プロセスを簡素化するために、エンドユーザーの使用感を向上する包括的かつ強固的なソフトウェア収益化ソリューションをシステムプラットフォームを提供します。

Sentinel LDK 7.2 には下の新機能が含まれています:

- Virtual Clock (V-Clock) – V-Clock により、リアルタイムクロックを持たない Sentinel HL ドーガ時間へのネイティブインシングをサポートできます。これにより、責任は Max、Pro、Net、Drive および Time などのモードによる時間へベースのライセンスを顧客に提供できるようになります。
- VM Live Migration – 責任に顧客は、ソフトウェアを含んする柔軟なマシンを別の物理マシンに移行した場合でも、中断することなく引き続き責任のソフトウェアを使用できるようになりました。

Sentinel LDK の詳細を知るには、今すぐここをクリック の、最新バージョンをダウンロードして ください。

成功の要因へ

成功の要因

製品スポットライトへ

責任の成功は弊社の成功

弊社ビジネスのフォーカスは、責任のソフトウェア開発品からお主まれる収益を最大化するソフトウェア収益化戦略の特定と実施を支援することです。責任ビジネスに従う進んだソリューションや戦略を見つけ出されるに従い、弊社では多様なニーズを満たすソフトウェア収益化ソリューション、IT 4.0 にてエキスパートに従い ウェビナー、業界トレンドについてのタイトイベーターなど、様々な情報や教育資源を作成しています。これらのリソースはソフトウェアベンダーの責任にとって役立つ多様なソフトウェアの内容に関心を示されたうえで考えられる収益できるとお考えてです?

以下 "もっと責任ソフトウェア 調査" に記入いただき、弊社のベンチマークの結果すべてを含まれるようにしてください。ソフトウェア調査にご記入なった方 全 50 名様に、20 ドル相当のギフトカード引き締結に送信させます。

企業ニュースへ

企業ニュース

成功の要因へ

SafeNet メディア掲載情報

「モバイルネットワーク 時代のソフトウェアの収益化、収益性を向上する 4 顧客分析方法をお教えであれば、SafeNet 以上のモバイルネットワークの進化と、業界はそれを加速しています。最近の活動や顧客に、SafeNet 以上での多数のオンラインと記事で取り上げています。

ソフトウェア収益化、そしてクラウドとコンプライアンスのカギを握る "ソフトウェアエ" やセットライセンスの管理、開発は世界全体の行うための課題の多くです。これらは、企業に以前に用意に適用されるため、開発でして用に用語の使われるようになりました。

ソフトウェア収益化 4 選は開発企業にとって何を知ることができるのか?

"ソフトウェアプロバイダーは開発者を良く使う各種な市場やクラウドの検証に最適化に適当する複雑ユーザーとして、Computer Weekly Developer Network 上級の、技術ライセンティングと SafeNet の責任チーム と直接話し合った。

ソフトウェアプロバイダーは何がに関してはならない

"2013 年後に、Bloor Research 社のアナリスティアハンター研究は、ソフトウェアの変化を、自社の行った当社取ソフトウェアベンダー (ISV) 市場の適応の課題結果について、いくつかの要点をまとめた。

"おそらく、初期 の顧客も興味深いことは、ISV の 75% が事業としてのみは、いまだに初期のプロセスを向上するを収益のアプリケーションに使う。新しい仕事の方法を可能にするアプリケーションの開発ではなかったことだと感は書いています。

契約書者の収集は契約書の作成に

"ソフトウェアの集行権使用に対する新しい証明書への問題ですがしたがに入は現れないし、利害関係の主に始まる開発、開発開発のクリエイティブ変革は示す新や技術を必要としている。